れんごう 愛媛

JTUC-EHIME

ゆとり豊かさ社会的公正
生活者重視社会の実現

Facebook いいねしてね！

No348 2023. 8. 10

平成2年5月10日　第三種郵便物認可
定価／1部50円（組合員の購買料は会費に含む）
定日／毎月1回10日発行

日本労働組合総連合会
愛媛県連合会（連合愛媛）

〒790-0066 松山市宮田町132（勤労会館内）
TEL 089-941-0500
FAX 089-947-8010
発行人 菊川　泰
編集人 寺田淳泰

語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう！

6月23日（金）と24日（土）の2日にかけて、連合平和4行動のスタートとなる「平和行動in沖縄」が開催され、連合愛媛からは5名（構成組織4名、事務局1名）で参加しました。

23日の「2023平和オキナワ集会」では、「日米地位協定と沖縄」をテーマに、琉球大学の山本教授から、「日米地位協定は日本の法律を適用しない免除協定であり、この協定により今もなお多くの問題が存在していることや、日本にある米軍基地の7割が沖縄県にある」などの課題について、講演がありました。

その後、平和集会主催者の芳野会長や地元連合沖縄の東盛会長から挨拶があり、次の開催地広島（連合広島）へのピースフラッグ引き継ぎを行った後、最後に「平和アピール（案）」を全員で確認し集会を終了しました。

翌日は、「ピース・フィールドワーク」に参加し、戦争時に多くの一般市民を巻き込んだ地上戦が繰り広げられた沖縄戦地の跡として、糸数アブチラガマやひめゆりの塔／資料館、また平和記念館や魂魄之塔を訪れ、改めて戦争がもたらした惨劇と多くの沖縄県民が戦争の犠牲となったことを学びました。

二度と戦争は起してはならない、次世代へ平和な日本を引き継ぐ、そのために戦争を知らない子どもたちにも、今日に至る歴史や平和の大切さを語り継いでいく必要があることを参加者全員が再認識しました。

6/23～24沖縄【参加者5名】
岩市　静（東レ労組）
曽我部直姿（別子労組）
丹　敏郎（別子労組）
石川和也（別子労組）
上甲章史（連合愛媛）

ひめゆりの塔

ピースフラッグリレー

2023原爆写真展を開催
『核兵器のない世界をめざして』

7月30日（日）～8月10日（木）の間、愛媛県勤労会館4階フロアーにて、2023原爆写真展を開催しました。

この企画は連合愛媛 青年委員会と女性委員会の合同企画で一昨年前から実施しています。

戦後78年となり、戦争を体験された世代が少なくなり、戦争を知らない世代が増えています。戦争体験を風化させることなく戦争の悲惨さ、平和の尊さを将来にわたって語り継ぐために、「戦争を知らない私たちができることは何か、それは、忘れないこと、語り継ぐこと、繰り返さないこと」をスローガンに、これからも継続していきます。

2023原爆写真展
連合愛媛　青年委員会・女性委員会企画
『核兵器のない世界をめざして』※自由観覧
期間：7月30日(日)～8月10日(木)　9時～17時
場所：愛媛県勤労会館ピュアフル松山 4階フロアー　観覧無料

連合第17回
男女平等講座（男性リーダー対象）を開催

6月30日（金）、全電通労働会館（東京）にて、連合本部第17回男女平等講座が開催され、連合愛媛から木村青年委員会委員長が参加しました。

冒頭、連合の則松副事務局長から、「連合としてのジェンダー平等、男女平等への取り組みを理解するとともに、3つの講義の中では、グループワークはもとより、コミュニケーションをはかり、様々な意見を取り入れ、男性リーダーとしての行動へとつながるようにしてほしい」とあいさつされました。

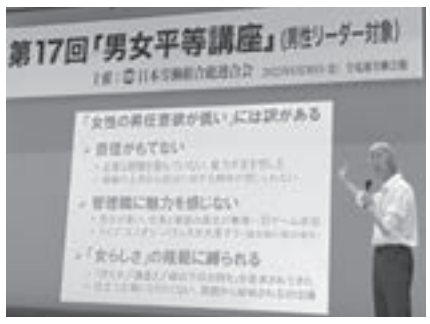
講演①、立教大学の首藤若菜教授
「労働組合とジェンダー平等」と題し3つのテーマである（1）男女平等の実態と原因（2）労働組合で女性参画が進まない理由（3）今、労働組合に求められていること――

講演②、井上総合政策推進局長
「ジェンダー平等・多様性に関する取り組み」として、日本における男女平等の現状や世界からみた日本の位置づけ、さらには、連合が進めてきた「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1

講演③、株式会社ソラーレ東浩司代表
「男女とも働きやすい職場づくりのために～イクボスと心理的安全性確保でチームづくり～」

それぞれ、講演を受け、今後の連合の方針や活動計画、また、それらにもとづく労働組合としての役割等、今後の単組としての活動に対するきっかけやヒントが得ることができました。

まとめに、井上総合政策推進局長から「労働組合は想像が重要であり、物事を考える上では、全ての立場に立つことはできないが、多様な視点を持ち、クリエーションしてもらいたい」と参加者へメッセージがあり、全体で共有しました。



連合2023
サマートップセミナーを開催

7月25日（火）、ベルサール九段（東京）にて、「連合2023サマートップセミナー」を開催し、連合愛媛から菊川会長が参加しました。

冒頭の主催者挨拶で芳野会長は、「コロナ禍を経て様々な変化がある中においても、連合がめざすのは、『働くことを軸とする安心社会』の実現であり、『持続可能性』と『包摂』をベースに、多様性を受け入れ、誰一人取り残されることのない社会。その実現に向けて、私たち自身もスピード感をもって変化に対応していかなくてはならず、本セミナーを通じてトップリーダーの皆さんがポジティブな気持ちで、明日からの具体的なアクションにつなげていく手がかりにしてほしい」と述べました。

次に、「労働組合×地域～民主主義から考える」と題し、宇野重規 東京大学教授に講演をいただきました。「これまでの研究や調査ヒアリングを交えながら、民主主義を実現する視点からも、地域における労働組合の役割は大きい」と述べ、地域に根ざした組合活動への期待を寄せました。

続いて、野村浩子 東京家政学院大学特別招聘教授から「多様性推進の今、そしてこれから－」と題して講演をいただきました。「世界・日本における「ジェンダー・多様性」の視点がどのように変化してきたか、海外と比較しその差がどこにあるのかなどを解説するとともに、目に見えにくい違いに目を向けることが必要で、ケア労働の女性への偏りがジェンダー平等を阻む壁となっている」などと指摘しました。

今回のセミナーで得られた知見も活かしながら、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、運動を進めていきます。

お住まいのことは、愛媛県労住協にご相談ください!!

家づくりに必要な土地探しからお手伝いします。土地が見つかればご要望をお伺いして、その土地の条件に合わせた、建築プランを無料で作成いたします。資金計画もご提案できますので、お気軽にお問い合わせください。また、リフォームや中古物件の売却・買取も出来ますので、何でもご相談ください。

注文・建売住宅
宅地分譲
リフォーム
土地・建物仲介

生活協同組合 愛媛県労働者住宅協会　愛媛県知事免許(15)第408号
TEL 089-943-2673
松山市宮田町愛媛県勤労会館2階 http://www.roju.or.jp

奨学金返済Q&A